

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371400959
事業所名	グループホームよろこび

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	①地域の方は交流については、法人をあげて取り組んでおり、地域の行事がある際には、利用者も一緒に参加する機会を設けている。 ②地域への貢献活動として、定期的に市民講座を開催して、相互の交流にも取り組んでいる。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	①会議を定期的に開催しており、地域包括支援センター職員の出席が得られている。 ②会議は、運営法人の関連ホームとの合同で開催しており、出席者にそれぞれの事業所からの取組み状況等を報告し、情報交換を行う機会にもなっている。また、会議を通じて、地域の情報に関する意見交換にもつなげている。	○
重点項目 ③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	①法人事務局の担当者が、定期的に市の担当者との情報交換の機会をつくるように努めている。また、区の地域包括支援センターとの情報交換にも努めており、困難事例等がある際には、連携に取り組んでいる。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	①ホームでは、行事の際には家族にも来てもらい、家族間の交流の機会をつくっている。 ②玄関に意見箱を設置している他、必要に応じて法人事務局も対応している。 ③毎月ホーム便りを作成しており、合わせて利用者の近況も添えている。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。